



平成29年度小笠原村立小笠原小学校

2月号 (H30. 2. 1)

# 学校だより

TEL 04998-2-2012

校長 西沢 盛和

## 高校生の姿に教えられて

西沢 盛和

1月26日に小笠原高校で「第1回島しょ高校生サミット」及び「次世代リーダー育成道場」の報告会がありました。報告者は、島しょの都立高校全7校の代表が集う「高校生サミット」に参加した生徒と、東京都教育委員会が進めている海外派遣制度での11カ月のニュージーランド留学から帰国した生徒の二人でした。30名を超える村民を前に、二人の生徒はそれぞれ自分の体験したことや学んだことを発表しました。その姿は実に堂々としていて自信に満ちていました。発表の内容も機知に富み、話術も巧みで、(プレゼンを基に発表原稿を読み上げるという発表ではなく、自分の思いを自分の言葉で自由に語りかけていました。)私は自然と話に引き込まれていきました。「もっと他の島のことを知りたくなった。」とその生徒は言いました。「自分の島の問題だけでなく、他の島の問題についても。」と。もう一人の生徒は言いました。「日本の歴史や政治のしくみを学ばなければと思った。日本語で伝えられなければ英語で伝えられない。」と。二人の発表は経験したことの報告なのですが、「もっと学びたい」「もっと考えたい」という気持ちが溢れていて、私にはむしろ今後の抱負の発表のようにも聞こえ、頼もしい限りでした。今回の特別な体験が、体験で終わらず、日常にかえった今も「学びたい」という意欲的・主体的な気持ちに溢れているのです。まさに、学ぶ力、生きる力が具現化された姿を感じました。本当に、素晴らしいことです。

小学校の教育に置き換えて考えれば、このような生徒の「体験」は「学校行事」になるのだと思います。学校行事も、学校行事そのものに意義があるというより、行事での「体験」が児童の日常に生かされて初めて大きな意義を持つと思うのです。そうであれば、少なくとも学校満足度の評価が学校行事と同等でなければ、学校行事の意義が本当に生かされていることにはならないのではないかと。行事での活躍も大事だけれど、普段の生活にそれが生きてくるのがより大事であり、目立たなくとも努力を続ける姿や自分の役割を真摯に果たす姿こそ、大きな称賛に値することを児童には教えていきたいし、そういう児童を大きく称賛していける学校でありたい。そうなるこそ、学校行事の本当の意義は深まるし、児童の学ぶ力や生きる力を育てることになるのではないかと。見開きのページに学校評価の結果があります。肯定的な評価に安堵することなく、学校行事のA評価に学校満足度のA評価が追いついていないことを課題として、今後も努力しなければならないと、高校生の姿に感化され、学校評価を振り返ってみて、そのようなことを強く思いました。

2月の行事予定			15	木	ヨーグルト 新1年生保護者会
1	木	芝生養生期間開始(～28日)	16	金	
2	金	避難訓練 委員会活動 小中高百人一首大会	17	土	道徳授業地区公開講座
3	土		18	日	
4	日		19	月	振替休業日
5	月	全校朝会 補食チョコプリン	20	火	全校朝会 ヨーグルト飲料 卒業週間始
6	火		21	水	音楽集会
7	水	誕生日集会 安全指導 6年生研究授業(他学年午前授業)	22	木	
8	木		23	金	クラブ活動
9	金	クラブ活動 漢字検定	24	土	
10	土		25	日	
11	日	建国記念の日 ニュース検定	26	月	全校朝会
12	月	振替休日	27	火	
13	火	全校朝会	28	水	運動集会 芝生の日 ヨーグルト
14	水	ゲーム集会 芝生の日			

## <生活目標>

担当 増淵 優花

### ○ありがとうの気持ちを表そう。

いよいよ6年生の子供たちは、卒業へのカウントダウンの時期となりました。最高学年として、学校生活のあらゆる場面でリーダーとなり、「おが小の顔」として、活躍してくれました。今月の終わりから、6年生の卒業を祝う週間が始まります。1～5年生は、これまでの生活での「ありがとう」を6年生に素直に伝えられるよう指導していきます。

ご家庭でも、ぜひ意識していただき、ちょっとしたことでもありがとうの気持ちを子供たちに伝えていただけますと幸いです。

## <安全指導>

担当 岡崎 友美

### ○遊具を大切に、体を動かそう。

2月1日～28日は、芝生養生期間です。芝生を保護するために校庭を使用することはできませんが、犬走りや体育館で体を動かすことはできます。

休み時間や犬走り、体育館では、主にボールやバドミントンのラケット、なわとびなどの遊具を使って遊んでいる姿が見られます。遊具は、最後の片付けまでを含めて丁寧に扱うとともに、狭い空間でも、子供たちが怪我なく安全に遊べるよう指導していきます。

## ロードレース大会

担当 木村 隆志

1月28日、第45回小笠原ロードレース大会が行われました。4～6年生は第1部で4km、1～3年生は第2部で2kmに出場しました。また、団体の部に高学年女子の上位5名が入賞しました。

子供たちは、これまでの練習の成果を発揮して全力で取り組むことができていると思います。順位やタイムという結果にのみ一喜一憂するのではなく、レースを迎えるまでの練習の取り組み方、食事・睡眠・休養などの体のケア、当日の身支度、モチベーションの整え方が、どのように行えたのかを振り返り、次年度のロードレース大会に備えてほしいと願い、今後も指導してまいります。

保護者の皆様、レース中の声援に加え、当日までの体調管理やゼッケン着用の準備、健康チェックカードのご協力など、子供たちへのたくさんの支援ありがとうございました。第46回大会もよろしくお願いいたします。

高学年男子の部	低学年男子の部	団体の部女子
第1位 オオヒラローキ	第1位 吉田智貴	第2位 竹之内和奏
第2位 鯉江和人	第2位 高野青波	吉田梨乃
第3位 小野寺鼓童	第3位 竹之内来輝	五十嵐桜空
高学年女子の部	低学年女子の部	仲和美
第1位 竹之内和奏	第1位 森下加椰	川上楓
第2位 吉田梨乃	第2位 小森谷波花	
第3位 五十嵐桜空	第3位 高嶺佳加	



## 書き初め大会

担当 志村 佳成江

新年を迎え、11日（木）に「書き初め大会」が開催されました。昨年度に引き続き、今年度もインフルエンザ感染予防のため、各教室（4・5年生のみ体育館）での実施となりました。

1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆での書き初めに取り組みました。

1・2年生は手本を見ながら、そっくりに書けるように。3～6年生は、いつもとは違う大きな半紙に、手本のように太く大きく書けるように。静かな空間で、「美しい字を書きたい」という願いを込めながら、鉛筆を、筆を、一画一画ゆっくりじっくり走らせました。真剣に取り組む子供たちの姿によって、いつもと同じ教室・体育館が、良い意味で張りつめた場となっていました。

学校公開は延期となりましたが、廊下に展示されていた書き初めはご覧いただけでしょうか。金銀銅の賞はありますが、どれも一人一人が思いを込めて書いた素晴らしい作品でした。作品は返却されますので、是非ご家庭でご鑑賞ください。なお、今年度は母島小中学校の学習発表会と東京都公立学校美術展覧会に出展いたします。機会がございましたら、そちらも是非ご覧ください。

